

## 9月11日 パプアニューギニア、ニューギニア東部の地震

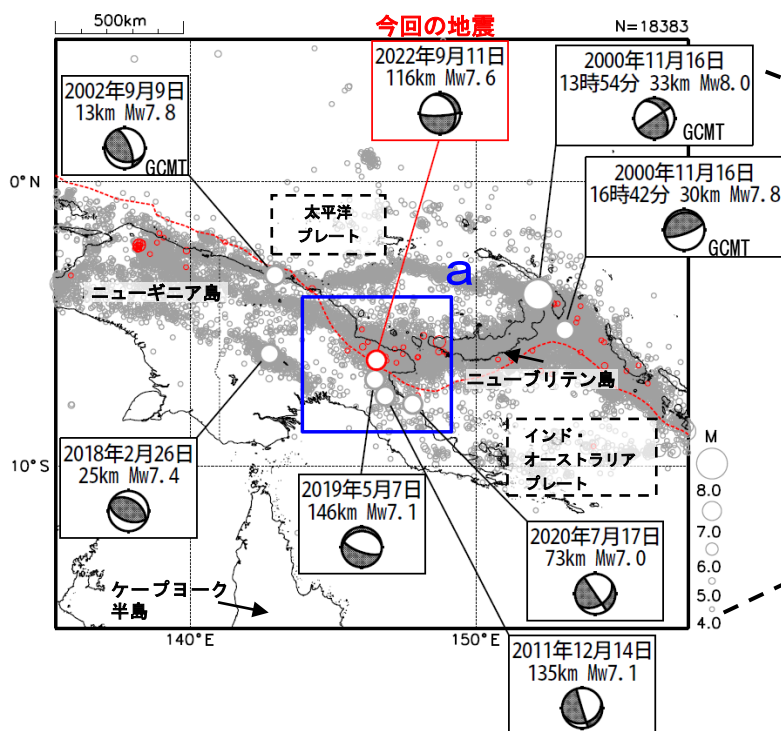
2022年9月11日08時47分（日本時間、以下同じ）にパプアニューギニア、ニューギニア東部の深さ116kmでMw7.6の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード、速報値）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解、速報値）は、北北東-南南西方向に張力軸を持つ型である。

気象庁は、この地震に対して、遠地地震に関する情報を同日09時23分（日本への津波の有無を調査中）及び同日11時20分（日本への津波の影響なし）に発表した。また、この地震により、死者12人、負傷者42人などの被害を生じた。

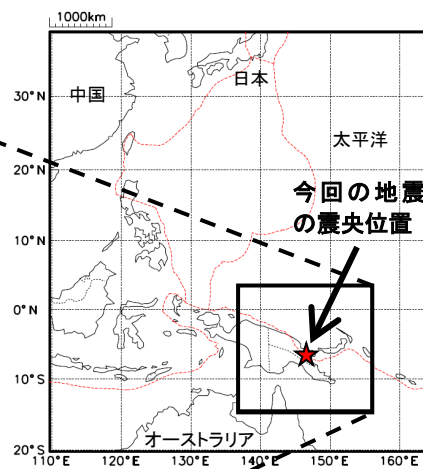
2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。また、M7.0以上の地震では、最近では2019年5月7日にMw7.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震が発生した地域ではM7.0以上の地震が頻繁に発生しており、1996年2月17日にはMw8.2の地震が発生し、父島で104cm、串本（和歌山県）で96cm（ともに平常潮位からの最大の高さ）など、日本でも津波を観測した。

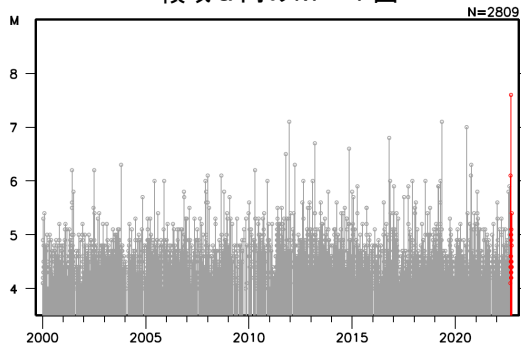
震央分布図  
(2000年1月1日~2022年9月30日、深さ0~150km、M≥4.0)  
2022年9月の地震を赤く表示



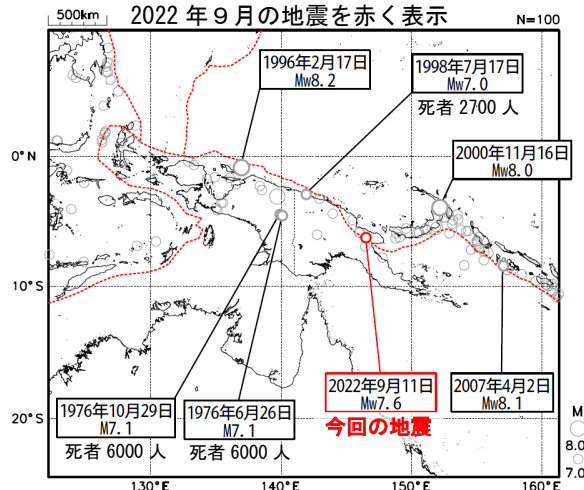
プレート境界の位置



領域a内のM-T図



震央分布図  
(1970年1月1日~2022年9月30日、深さ0~150km、M≥7.0)  
2022年9月の地震を赤く表示



今回の地震、M8.0以上の地震及び死者1000人以上の地震に吹き出しを付けた。

※本資料中、2000年以降の震央分布図に吹き出しの注釈がある地震のうち、2009年4月以降の地震の発震機構及びMwは気象庁（今回の地震の発震機構の速報値を含む）、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。吹き出しのないその他の地震については米国地質調査所（USGS）による（2022年10月6日現在）。

また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年10月6日現在）。プレート境界の位置はBird (2003)より引用。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2022年9月16日現在）、過去の地震の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.